

バードストライク ～激突する野鳥～



「ドン!」と衝撃音がした。音の発生源に向かって、地面に野鳥が横たわっている。熊野古道センター北側の芝生広場に面した部分は、ガラスを張った構造になっている。大きな音は、鳥がガラスにぶつかった音だ。当センターではこのような事故が一年を通して発生している。空港では、飛行機のエンジンに野鳥が吸い込まれ、エンジン損傷や停止といった重大な事故につながったことがしばしばニュースとなる。離陸時の3分、着陸時の8分は「魔の11分」と呼ばれ、関係者にとっては緊張する時間帯であるといわれる。

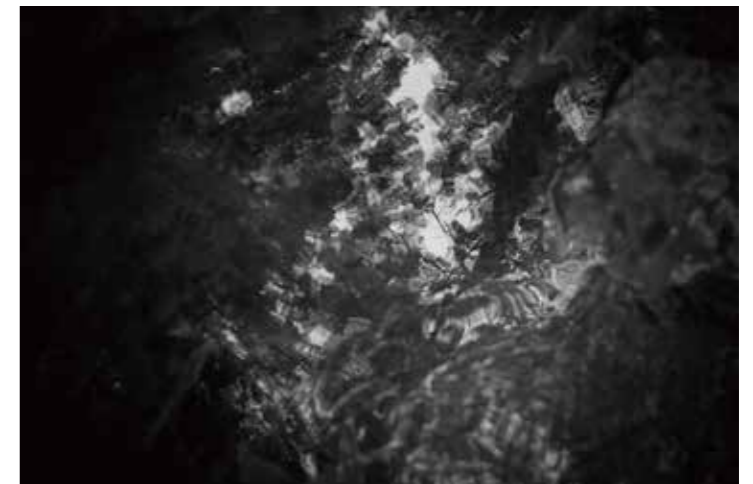
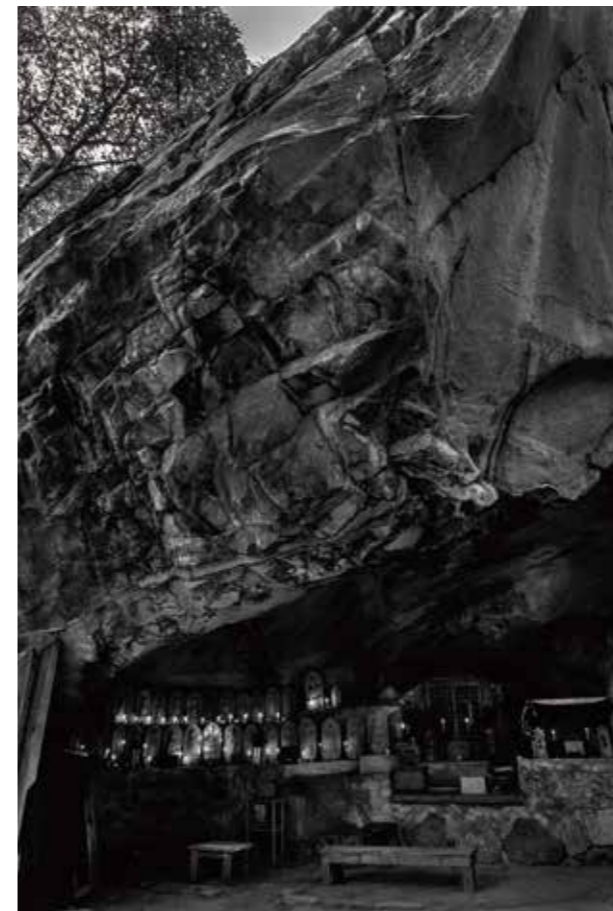
野鳥がガラスに激突するのは「鏡面効果(ミラーリング)」が主な原因である。ガラスが鏡のように周囲の風景を写し、あたかも空が続いているかのようにみえてしまいぶつかるのだ。

さて、話は熊野古道センターのバードストライクだ。筆者が一年を通して観察したところ激突する鳥は冬に少なく、春から秋にかけて多く発生している。ウグイス、ヒヨドリ、ヤマガラなどの一年を通して同じ地域に生息する留鳥、ツグミ、キビタキといった季節により移動する渡り鳥など20種以上が今まで激突している。

当センターでは、不特定多数の人が出入りするため、激突して地面に落下した野鳥をそのまましておくわけにはいかない。できるだけ早く他の場所に移動させるなど処置を講じる。あとは自然の摂理に委ねる。そこには法律の制約があるからだ。

海外ではこのような痛ましい事故を防ぐため鳥が認識しやすい素材の仕様を義務づけるなど法制化が進んでいる。当センターも紫外線フィルムを貼るなど早急に何らかの対策をとらなければならないと常々思う。

写真家森武史と
熊野古道伊勢路



紀伊山地の深い山々と熊野古道の自然を、長年にわたり撮り続けてきた三重県在住の写真家・森武史氏。ライフワークとして熊野古道を記録する同氏は、世界遺産登録以前の荒廃した道が、地域の人々の手によって少しずつよみがえっていく過程を見つめてきました。

伊勢と熊野、二つの聖地を結ぶ熊野古道伊勢路は、古くから多くの旅人の祈りや想いを受け止めてきた道です。森氏は、石畳や岩、森の細部に静かに焦点を当て、そこに残る旅人の気配や記憶をモノクロームの写真で表現しています。

熊野古道センターでは、この春、熊野古道センター開館20周年記念企画展第一弾として、『写真家 森武史写真展-iseji-』を開催します。

本展では、作品を通して自然への畏敬や信仰心といった「自然と人とのあいだに息づくもの」に、静かに向き合う時間をお届けします。(会期:4月11日~6月28日)

ひとりごと 川端守の

NO.23

愚庵「巡礼日記」を歩く(その15) 最終回 古座街道を歩く



明治26年10月20日。京都を出発してから、一ヵ月経っている。那智山奥の院(阿弥陀寺のことか)へ。いよいよ三十三カ所めぐりのスタート。元の道を引き返し、井関へ下り、天満を過ぎ、市屋、下里を経て、浦上の入海を渡りて西の岸に宿る。この日六里半。

10月21日。下里原を経て古座。岡に上り、橋杭岩を眺める。ここから古座街道をたどることになる。この日は潤野の円照寺に泊。この頃から寺院への宿泊が多くなる。

愚庵は那智山から田辺、和歌山へ行くのに大辺路はたどらない。実は那智と田辺を結ぶ最短コースは古座街道なのである。私もこの道は一度しか通っていない。しかも自動車でも街道らしき道を駆け抜けただけなので、どこをどう走っ

たのか記憶も確かではなく、ただただ紀伊山地の山の中の道としか覚えていない。

愚庵は土地勘のない山道を五日間かけて、ひたすら歩く。そのため二度にわたって山の中で大きく道を失い、迷ってしまう。

当時、熊野の山中には、猟師や仙人、炭焼きなど多くの人が入っていたので、道には迷ったが、これらの人に出会い街道へと案内してもらおう。山の中には山人がいた。幸福な時代といえる。

古座街道は世界遺産には登録されていないが、熊野古道よりも山中の古道の雰囲気は今も保っている。山道を歩く愚庵、二番札所を目指す愚庵にとって、道はまだまだ遠く、結願までの道は、始まったばかりである。

お知らせ

三重県立熊野古道センター公式チャンネル
YouTube 動画公開中!

講演会やイベントの動画をアップロードしています。ぜひチャンネル登録をお願いします。

公式X(旧Twitter)、インスタグラム
随時配信!

企画展、イベント情報、センター周辺のちょっとした話題など、随時更新しています。ぜひご覧ください。

センター敷地内『夢古道おわせ』

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」

深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もポカポカです。
営業時間:午前10時~午後9時30分
(入館受付:午後9時まで)

「OMOTENASI」フードコート

尾鷲湾を一望できる場所で、古道ラーメン、深海から揚げ、おにぎり、デザートなどを取りそろえています。土日祝のみ「ほんじつさかな」も営業し、地元の良い魚を提供します。
営業時間:午前10時~午後3時(ラストオーダー午後2時45分)
※月曜日定休(祝日の場合は翌日)

『夢古道おわせ』に関するお問い合わせは TEL 0597-22-1124



お車でお越しの方は...
尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルピオラ」がある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着(尾鷲北ICから約10分)
※尾鷲南ICからは約8分

電車でお越しの方は...
JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)乗車→「熊野古道センター前」バス停下車

熊野古道センターからのてがみ 2026年 春号

- 発行日:2026年3月17日(季刊)
- 編集・発行:三重県立熊野古道センター
(三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当:玉村/小島
- 連絡先:〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4
TEL 0597-25-2666
FAX 0597-25-2667
Mail info@kumanokodocenter.com
- 開館時間:午前9時~午後5時
- 入場料:無料
- 休館日:12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道センター

検索

ホームページ
https://kumanokodocenter.com
60000250317AT

旬の企画展



企画展 熊野古道センター開館20周年記念企画展 『写真家 森武史写真展—iseji—』

三重県在住の写真家・森武史氏による写真展。伊勢神宮から熊野三山をめざす旅人の想いや気配を、石畳や岩、森のディテールを通してモノクローム写真で表現します。

2026 4/11(土) ▶ 6/28(日)
●会期中無休
時間 午前9時～午後5時
入場料 無料
場所 企画展示室

2026 5/2(土)
ギャラリートーク
5月2日(土)午後1時30分より
ギャラリートークを開催します。

ロビー展 八鬼山荒神堂跡及び茶屋跡

西国第一の難所と呼ばれる八鬼山越えの道中に位置する「八鬼山荒神堂跡及び茶屋跡」についてご紹介します。

2026 6/1(月) ▶ 6/30(火)
●会期中無休
時間 午前9時～午後5時
入場料 無料
場所 展示棟ホール



西国三十三所名所図会より

特別展示企画展

画像資料に見る近代熊野地方の交通発達史

近代における熊野地方の海・川・陸の交通史について、絵葉書や地図などの実物資料の展示と共に紹介します。



新宮停車場内(中瀬古友夫氏蔵)

2026 4/25(土) ▶ 7/12(日) ●会期中無休
時間 午前10時～午後5時
入場料 無料
場所 特別展示室

共催 新宮市熊野学研究会
後援 新宮市教育委員会

特別展示企画展 道ができる暮らしが変わる—近代熊野の交通発達をたどる—

中瀬古友夫氏(熊野学研究会代表)をお招きし、展示資料の解説と熊野地方の交通史についての講演をいただきます。

2026 5/17(日)
時間 午後1時30分～3時
入場料 無料
場所 80名(要申込・先着順)
対象 どなたでも

場所 映像ホール
講師 中瀬古友夫氏(熊野学研究会代表)
受付 4月1日(水)～5月16日(土)午後5時まで

体験学習

くまの古道料理教室—相可高校に学ぶ—

2026 5/24(日)
めで鯛料理
受付 4月10日(金)～5月10日(日)午後5時まで

時間 午後1時～3時
参加料 3,000円
定員 24名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 一般



2026 6/21(日)
三重の郷土料理
受付 5月7日(木)～6月7日(日)午後5時まで

場所 体験学習室
講師 西岡宏起氏(相可高校食物調理科教諭) 相可高校調理クラブの皆さん
共催 三重県教育委員会

※令和8年度の料理教室の日程が決定しました。詳細は熊野古道センターHP等でお知らせします。(年間6回開催予定)

- ① 令和8年5月24日(日)
- ② 令和8年6月21日(日)
- ③ 令和8年7月12日(日)
- ④ 令和8年9月6日(日)
- ⑤ 令和8年10月25日(日)
- ⑥ 令和8年11月1日(日)

八鬼山の撮影に同行しました!

1月のある日、写真家・森武史さんの撮影に同行し、八鬼山を訪れました。二つの峠と標高647メートルの山頂を越える八鬼山道は、かつて難所として知られ、現在もツキノワグマの存在が不安を伴います。撮影に集中していただくため、クマ鈴を鳴らしながら同行しました。やわらかな光が差し込む石畳や石仏、苔むした岩と樹木の力強さに向き合う、贅沢な時間でした。この春の企画展では、この日撮影された作品も展示予定です。



スタッフコラム

「Iseji Hiking Tour」を開催しました!

訪日外国人を対象とした「Iseji Hiking Tour」を開催しました。ガイドの山脇さんによる英語解説のもと、馬越峠道、天狗倉山、岩屋堂、尾鷲神社を巡り、アメリカやイギリスなどから来日したALTの先生方7名が参加しました。クイズや演奏を交えた案内に笑顔があふれ、岩屋堂ではろうそくが灯される貴重な体験もあり、参加者にとって心に残るツアーとなりました。ご興味のある訪日外国人の方は、次回はぜひご参加ください。



和歌山県 世界遺産センター からのお知らせ

春の日差しが心地の良い頃となりました。

世界遺産センターでは、毎年、世界遺産に関する参詣道保存団体・語り部団体等を対象に、参詣道全体の理解や団体相互の交流促進を目的とした地域交流会を開催しています。今年は串本町、那智勝浦町の清水峠から二河峠までの約12kmをフィールドとして5グループに分かれて歩きました。三重県の熊野古道語り部友の会からも20名の皆様にご参加いただきました。

また、熊野本宮館において3月22日(日)までの間、世界遺産の道普請展と令和7年度次世代育成事業成果物展示会を開催しております。世界遺産登録20年間の道普請の取り組みやこれからのためのパネル展と、次世代育成事業に参加した各学校から提出された学びの成果を見ることが出来る貴重な機会となっております。是非お越しください。



地域交流会の様子

令和7年11月中旬～令和8年3月上旬の道普請参加団体(敬称略)

上富田町立市ノ瀬小学校、那智勝浦町立下里小学校、熊野TREK、田辺市立本宮中学校、阪和興業株式会社、三菱電機トレーディング株式会社、一般財団法人さわかみ財団、田辺市立会津小学校、本宮行政局他有志、日本航空株式会社西日本支社

詳細につきましては 和歌山県世界遺産センターHP <https://www.sekaisan-wakayama.jp/> をご覧ください。

道普請には資材費(土代金)が必要 ※天候等の事情により、日程及び内容を変更する場合があります。

お問合せ先 和歌山県世界遺産センター
住所 和歌山県田辺市本宮町本宮100-1
TEL 0735-42-1044
FAX 0735-42-1560
E-mail e1004011@pref.wakayama.lg.jp

内容は変更になる場合がございます。
●詳細はホームページでお知らせします。

お申込み・お問い合わせは、
お電話か直接 熊野古道センターへどうぞ! **TEL.0597-25-2666**

イベント情報



交流イベント

ゴールデンウィーク ドリームフェスタ 2026

5月3日(日・祝)～5日(火・祝)の期間中、芝生広場や交流棟ホール等において、ご家族そろって楽しめるイベントを開催します。ゴールデンウィークは、ぜひ熊野古道センターへお越しください。
(※イベントの内容は、4月中旬頃に熊野古道センターHP等でお知らせします。)

体験学習 ▶ 県民の日体験イベント

1876年4月18日に現在の三重県が誕生し、今年で150周年を迎えます。このことにちなみ、尾鷲ヒノキのものづくり体験教室を開催します。

2026 4/18(土)

受付時間 午後1時～3時
参加料 ヒノキの箸作り400円、ヒノキのバターナイフづくり300円
定員 各20名

対象 どなたでも
場所 交流棟大ホール
講師 熊野古道センター職員
受付 当日申込・先着順



体験学習

おわせヒノキの木工体験教室

おうち型貯金箱やビー玉めいるなど、小さなお子さまから大人まで、様々な年代にご参加いただけるヒノキの木工体験教室を開催します。

2026 4/19(日)

受付時間 午後1時～3時
参加料 500円～2,000円(体験内容による)
定員 20名程度
対象 どなたでも

場所 交流棟大ホール
講師 大形弥生氏(えびすや)
受付 当日申込・先着順



体験学習

おわせヒノキの木工体験教室

尾鷲ヒノキの魅力に触れながら、本格的な木工体験ができる教室を開催します。趣味やデスクワークにお使いいただける机をつくります。

2026 6/14(日)

時間 午後1時～3時30分
参加料 500円(材料費12,000円)
定員 12名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

場所 体験学習室
講師 竹内健悟氏(家具工房kigumi)
受付 5月1日(金)～5月31日(日)午後5時まで



知られざる熊野探訪ツアー

古里坂・のこぎり坂を訪ねる

忘れられた熊野古道の江戸道や美しい海、民宿街を、いにしへの旅人に思いをはせながら歩きます。

2026 4/25(土) ●雨天の場合4月26日(日)

時間 午前9時～午後2時
参加料 1,000円(資料代・保険料)
定員 20名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 一般※歩行距離約6.3km 獲得標高約±185m

場所 紀北町 古里・道瀬
案内人 家崎彰氏(海山郷土資料館主事・海山郷土史研究会)
受付 3月11日(水)～4月11日(土)午後5時まで



古里坂(横吹け峠)

知られざる熊野探訪ツアー▶ 九木崎めぐり

三重県の天然記念物である九木崎樹叢をめぐるツアーです。

2026 5/30(土) ●雨天の場合5月31日(日)

時間 午前9時～午後3時
参加料 1,000円(資料代・保険料)
定員 20名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 健脚者※歩行距離約7km 獲得標高約±600m

場所 尾鷲市 九木崎周辺
案内人 橋本博(熊野古道センター副センター長)
受付 4月16日(木)～5月16日(土)午後5時まで



交流イベント

こどもカメラ～おえかきフォト～

写真家・山本まりこさんと、カメラやスマートフォンで撮影したり、熊野古道の写真に色を塗ったり絵を描いて、新しい作品をつくるワークショップを開催します。

2026 5/10(日)

時間 午前10時～正午 撮影イベント
午後1時30分～3時30分 お絵かきイベント

参加料 無料
定員 20名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)
場所 熊野古道センター周辺及び体験学習室
講師 山本まりこ氏(写真家)
受付 3月26日(木)～4月26日(日)午後5時まで



交流イベント

道普請体験

熊野古道伊勢路の保全活動(道の整備)を行います。

2026 4/4(土)

●雨天の場合中止
時間 午前9時～午後1時
参加料 1,000円(保険料・昼食代を含む)
定員 20名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 一般
場所 尾鷲市 ヨコネ道・三木峠
講師 大川善士氏(ルーバーの会・三木羽後峠保全活動主宰) 木許勝弘氏・濱田哲氏(尾鷲救済隊)
受付 2月21日(土)～3月21日(土)午後5時まで



講座・講演 ▶ 山歩き講座(初心者)

山歩き初心者の方、基礎から学びたい登山経験者の方のための入門講座を開催します。

2026 4/11(土) ▶ 4/12(日)

●二日間の連続講座
●両日少雨実施
時間 4月11日(土)午前10時～午後3時
4月12日(日)午前8時～午後3時30分
参加料 1,500円(資料代・保険料)※別途交通費必要
定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 小学3年生以上(小学生は保護者同伴)

場所 4月11日(土)体験学習室・芝生広場
4月12日(日)熊野古道馬越峠道、天狗倉山、岩屋堂
講師 宮本秀男(熊野古道センター員/日本スポーツ協会山岳コーチ)
受付 2月28日(土)～3月28日(土)午後5時まで



講座・講演

連続講座古文書からひも解く人々の営み

歴史資料保存の大切さと地域の歴史・文化についての関心を深めていただくため、古文書の基礎的な知識の習得をめざす講座を開催します。

2026 5/23(土)・7/18(土)・9/26(土)・11/28(土)・2027 1/23(土)

時間 午後1時30分～3時30分
参加料 1,000円/回(資料代)
定員 各15名(要申込・先着順)

対象 一般(初級者以上)
場所 小ホール
講師 尾鷲古文書の会会員
受付 随時(各回の一週間前まで)



講座・講演

連続講座くずし字を学ぶ～古文書解読初心者講座～

古文書や地域の歴史・文化に関心を持っていただくため、初心者を対象とした古文書解読講座を開催します。

2026 6/27(土)・8/22(土)・10/24(土)・12/26(土)・2027 2/27(土)

時間 午後1時30分～3時30分
参加料 1,000円/回(資料代)
定員 各15名(要申込・先着順)

対象 一般(古文書解読初心者)
場所 小ホール
講師 尾鷲古文書の会会員
受付 随時(各回の一週間前まで)



語り部と歩く熊野古道伊勢路

語り部と歩く熊野古道伊勢路八鬼山越え

熊野古道語り部友の会のガイドで、西国第一の難所、八鬼山越えを歩くツアーを開催します。

2026 6/6(土) ●雨天の場合中止

時間 午前8時30分～午後4時
参加料 1,000円(資料代・保険料)
定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 健脚者※歩行距離約11km 獲得標高約±650m

場所 尾鷲市 三木里町
案内人 小山明利さん(熊野古道語り部友の会会員)
受付 4月23日(木)～5月23日(土)午後5時まで



くまの自然科学教室

くまの自然科学教室①「キノコ観察会」

「きのこアドバイザー」と一緒に、普段なかなか見る機会のない野生のきのこを観察しながら、その生態や名前などを紹介します

2026 6/12(土) ●雨天の場合中止

時間 午前9時～正午
参加料 1,000円(資料代・保険料)
定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 小学生以上(小学生は保護者同伴)

場所 未定※尾鷲市 紀北町予定
講師 林 彰紀さん(きのこアドバイザー)
受付 4月29日(水)～5月29日(金)午後5時まで

